

青 第 2 1 2 号  
令和 7 年 9 月 11 日

埼玉県青少年健全育成審議会  
会長 細川 江利子 様

埼玉県知事 大野 元裕 (公印省略)

青少年に優良な図書の推奨について (諮問)

埼玉県青少年健全育成条例第10条の規定により、青少年に優良な図書として別記の図書を推奨したいので、同条例第25条第1項第1号の規定により、貴審議会の意見を求めます。

# 令和7年度埼玉県諮問図書審査票

(乳幼児部会)

| 諮問番号 | 図書名等   | 内容・選定理由  | 認定基準         |
|------|--|--|--------------|
| 1750 | いえができるよ<br>好学社<br>バイロン・バートン／さく<br>なかがわちひろ／やく   | <p>【内容】<br/>何もない土地に重機や工事の人々がやってきて家を建て始め、壁を作ったり水道管をつなげたりと作業していく。一軒の家が建つまでを簡略化しながらも一つ一つの作業は具体的に描いており子どもでもわかりやすい。家が完成し、住む人が引っ越してくるところまで描かれているので子どもが満足感を得られ、家の仕組み、大工仕事など広く建築に興味がもてる絵本。</p> <p>【選定理由】<br/>家が組み立てられていく工程は明確な輪郭の絵とシンプルな言葉で表現され、働いている人々の作業の様子もわかりやすい。家の仕組み、大工仕事など広く建築に興味が持て、一軒の家が完成し住む人が引っ越してくるところまでしっかり描かれており子どもが満足感を得ることができる。カラフルだが抑えた色数で見やすく原著の出版は1981年だが古さを感じさせない。</p> | (3)ア         |
| 1751 | まる！<br>童心社<br>得田之介/さく<br>北村人/え                 | <p>【内容】<br/>子どもも親しみやすい可愛らしい絵で、親子で楽しめる赤ちゃん絵本。絵本の中の生き物たちと同じ動作をまねすることで、子どもが達成感を得られる一冊。</p> <p>【選定理由】<br/>シンプルな絵だが、はっきりとした色で見やすく、生き物たちの可愛らしい表情が親しみやすい。「まる」という言葉が繰り返されるリズムと、まるくなるというまねしやすい動作が、小さい子でも楽しめる。親子で一緒に絵本を読んで、同じ動作をすることで、ふれあいにもつながる。</p>  | (1)エ         |
| 1752 | コーリーちゃんはおねむです<br>評論社<br>エリン・ヘッグ/作<br>ひさやまたいち/訳 | <p>【内容】<br/>ペットのコーリーは眠りたいだけなのに、どこへ行っても「そこ どいて」と、言われてしまう。家のなかでゆっくり休める場所を求めて、しぶしぶ移動する不満げな表情が、ユニークでおもしろいおはなし。</p> <p>【選定理由】<br/>眠りを邪魔されて不満げなコーリーが、ユーモラスに描かれている。表情豊かなコーリーは、愛嬌があり可愛らしい。眠りを邪魔されるたびに、元気がなくなる様子が耳のたれ具合で表されていることや、場面がつながっているなど細かい部分にも気が配られていて、繰り返し読むたびに新しい発見がある。最後、男の子のひざで安心して眠る姿が、読んでいる子どもに安心感を与えてくれる。</p>   | (1)エ<br>(3)オ |
| 1753 | おせち<br>福音館書店<br>内田有美/文 絵<br>満留邦子/料理<br>三浦康子/監修 | <p>【内容】<br/>健康や長寿、子孫繁栄や豊作祈願等、さまざまな願いや意味がこめられたおせち料理をわかりやすく紹介している絵本。精緻に描写された料理や食材、飾りはとても美しく、読み手を引き込む力がある。お正月の時期におススメしたい1冊。</p> <p>【選定理由】<br/>おせち料理について、小さい子にもわかりやすい言葉で描かれている絵本。料理や食材について詳しく説明されているので、親子で楽しく学ぶことができる。写実的で美しい絵とリズム感のある文章で、食への興味・関心を高める1冊となっている。ハレの日に食べる特別な料理の習慣を知ることで、日本の文化・伝統への理解が深められる。</p>  | (3)イ・オ       |
| 1754 | ゆきのこえ<br>講談社<br>おーなり由子/文<br>はたこうしろう/絵          | <p>【内容】<br/>朝、男の子が目覚めると外は一面の雪景色。その中へ踏み出すときの喜び、散歩しながらさまざまな様子の雪に触れる楽しみが伝わってくる。地面に積もった雪、枝に積もった雪、踏みしめた雪、投げ上げて散らした雪などを体全体で感じる絵本。</p> <p>【選定理由】<br/>主人公が新雪のなかへ踏み出す前の期待感や、外に出てからさまざまな雪の様相を楽しんでいるのが伝わってくる。センス・オブ・ワンダーを感じられる作品。雪の質感も描きわけられており、各所のオノマトペで表現されている「ゆきのこえ」も耳に心地よい。</p>   | (1)エ<br>(3)ア |

# 令和7年度埼玉県諮詢図書審査票

(小学校低学年部会)

| 諮詢番号 | 図書名等   | 内容・選定理由   | 認定基準                    |
|------|--|---|-------------------------|
| 1755 | かみさま、いっしょのおねがい！<br>国土社<br>といよしひこ／作・絵                   | 【内容】一生のお願い、というのは、こういう時に使うのだろうな、と納得できる内容になっている。おそらくどの読者も最後まで読めば、「そうだね」と思うであろう。誰にでも受け入れられる内容であると思う。<br><br>【選定理由】小学校低学年の児童だけでなく、一緒に読む大人も楽しめる一冊。「かみさま、いっしょのおねがい！」を使う場面や、願いの強さがインパクトのある絵からも伝わってくる。共感しながら楽しんで読み進めることができる一冊。  | (1) エ<br>(4) ア          |
| 1756 | ビビさんとゾウ<br>評論社<br>レザ・ダルバンド<br>作 / せなあいこ 訳              | 【内容】ビビさんのペットのゾウが動物園に送られてしまうことになった日に、ビビさんとゾウがどこかにいなくなってしまい、一体どこでどうしているのかな・・・と心配な気持ちが残るお話である。どうしてあげればよかったのか、幸せに暮らしてほしい、と様々な気持ちが余韻として残る良い物語。<br><br>【選定理由】優しいタッチと美しい色彩で描かれた絵に目が奪われる。「一人一人違ってもいい」と多様性について考えさせられる。お話の最後には、ビビさんもゾウもまだ戻って来ていないが、一人一人が幸せに過ごせるようになったまちであれば、いつか戻って来てくれるのではないか・・・と続きを想像したくなる一冊。  | (1) エ<br>(3) エ<br>(4) ア |
| 1757 | いちかちゃん<br>くもん出版<br>いとうみく/作 中<br>田いくみ/画                 | 【内容】特性のあるこどもは、どの学校にもどのクラスにもいる。この本の「いちかちゃん」について、自分のクラスにもいるな、もしくは自分もこんな感じかな、と思いながら読む子どもも多いのではないだろうか。「ぼーっとしている」を「うつかりやさん」と表現しているところも優しさであろう。<br><br>【選定理由】一人読みができるようになった低学年の児童には、文量も丁度よい。学校でも、さまざまな個性をもつこどもたちが一緒に生活しているが、子ども自身が友達や自分の良さを再発見できるきっかけになる一冊。   | (1) ア<br>(2) イ<br>(3) エ |
| 1758 | シロツメクサはともだち<br>ブロンズ新社<br>鈴木純/著                         | 【内容】一冊すべてシロツメクサだけに注目をして、植物の生長の一年間を写真とともに紹介している。写真も丁寧で説明の文量も適切である。難しいことは書かれていないので、最後までしっかりと読むことができる。「他の動物はどうなのかな」と思ってもらい、興味が発展していくと良いと思う。<br><br>【選定理由】低学年の児童は、とにかく動植物に興味をもっている。この本は、普段は気にしない部分の写真や、どのような形になっているのかわかる拡大された写真が多く掲載されており、実際にシロツメクサを探しに行き、確かめたくなる一冊。この本をきっかけに、もっと多くの植物に興味をもつききっかけにもなるだろう。 | (1) イ<br>(2) ア<br>(3) ア |
| 1759 | いのちをまもるじゅういのしごと①<br>どうぶつ園のじゅういの一日<br>小峰書店<br>東武動物公園/監修 | 【内容】獣医の仕事がわかりやすく具体的に書かれている。小学校低学年の児童にもわかりやすい。写真も大きく見やすいものが掲載されている。それぞれの動物の特性に応じた対応を丁寧にしていることがわかり、獣医さんの動物に対する優しさが伝わってくる。<br><br>【選定理由】多くの職業があるなかで、獣医に焦点を当てている。動物園の動物が大好きな子どもたちであるが、その動物のためにどんな人がどんなことをしているのか、写真と簡単な言葉で詳しく分かる一冊。  | (1) イ<br>(3) ア          |

# 令和7年度埼玉県諮詢図書審査票

(小学校中学年部会)

| 諮詢番号 | 図書名等   | 内容・選定理由   | 認定基準                    |
|------|--|---|-------------------------|
| 1760 | スポーツノン<br>フィクション<br>車いすテニス<br>小田凱人<br>Gakken<br>秋山英宏／文           | <p>【内容】</p> <p>車いすテニスの小田凱人選手は小学3年生の時に骨肉腫により人工関節を入れる手術を行った。新しく出会った車いすテニスに夢中になり、世界一となった今でも挑戦し続ける小田凱人選手の伝記。病気に対して乗り越えたいという気持ちではなく、人生の分岐点だと捉えて障害をもったからこそ車いすテニスができると語る小田選手は、障害の有無に関わらず子どもたちにとってヒーローとして輝く存在になると思われる一冊。</p> <p>【選定理由】</p> <p>車いすテニスで数々の記録を更新している小田凱人選手についてのスポーツノンフィクション。病気が見つかった時、サッカーが続けられなくなった時、試合で完敗した時など、困難にぶつかった時でもそれを新たな挑戦へのきっかけとしていくその姿からは勇気をもらえる。バラアスリートに視点を当てていることで多様性について考えるきっかけになることはもちろん、純粹に子どもたちが夢をもち、歩みだすきっかけとなると考えられる一冊である。</p>                             | (2) イ<br>(3) ア<br>工     |
| 1761 | タケシのせかい<br>アリス館<br>室井 滋／文<br>長谷川義史／絵                             | <p>【内容】</p> <p>パパの部屋には開けてはいけない秘密の箱がある。どうしても気になるタケシは家族の留守中にこっそり箱を開けると中には手紙が入っていて……。自分のこと、友達のこと、周りにいるいろいろな人のことなど、手紙に書かれた質問について考えることで視野を広げ、考えを深めるきっかけを与えてくれる物語。「どんなものも、きっと何かのやくにたつ」「ちがうからいい」というメッセージが素直に伝わり、考えさせられる。</p> <p>【選定理由】</p> <p>パパの秘密の箱の中身を知るために、タケシがパパからの質問に答えながら改めて周囲のことに目を向け、考える姿が描かれた絵本。良い・悪い、好き・嫌いなど捉え方は人それぞれ難しい。絵本の中の「友達には自分にはない良さがある」「良い香りの香水には甘い匂いに少しだけ臭い匂いが混ざっている」などのエピソードを通して、自分の気持ちを整理しながら周囲の考えにも耳を傾ける大切さを教えてくれる良書である。</p>  | (1) ア<br>(2) イ<br>(3) エ |
| 1762 | 雪女とヒミツの<br>やくそく<br>国土社<br>西村さとみ／作<br>ao／絵                        | <p>【内容】</p> <p>雪女なんていいと思っていた圭太はスキー教室の吹雪の中で不思議な女の子に出会う。それからしばらくして、ベンションを営む圭太の家があるスキー場の周囲で不思議な出来事が起り……。雪女の伝説と村おこしを軸に、少しずつ謎が解け真実が明らかになっていく展開で最後まで楽しく読み進められる。シンプルな構成で深みや重みがあるものではないが、中学年の子どもたちには理解や共感がしやすい内容である。</p> <p>【選定理由】</p> <p>雪女や山の神が出てくるファンタジーな世界観だが、借金を抱え取りつかれたように雪女伝説を利用した観光開発を進めようとする友達の父の姿は地方観光地のリアルを感じられる。物語は圭太の目を通して描かれ、少しずつ謎が明らかになっていく構成になっていて読みやすい。生活のために開発を進めるか、自然を守るか、自分の住んでいる地域にも思いを馳せるきっかけとなる。</p>   | (1) ア<br>(2) ア<br>(3) イ |
| 1763 | しょうこをつか<br>め！<br>光村教育図書<br>デボラ・ホプキンソン／<br>文、ニック・ヘンダーソン／絵、福本友美子／訳 | <p>【内容】</p> <p>1854年8月末、あつくくてくさいロンドンのブロード街に伝染病コレラがやってきた。当時の医者は、次々と死者が出るこの病の原因をにおいだとしていた。しかし、ジョン・スノウだけは違った。病気の証拠を探すため、コレラを何年も追いかけている。かの有名な病コレラの原因がどのような経緯で判明したのかが描かれている。点と点をつなぐようなスノウの推理や行動力に驚かされ、絵本であるが読み応えがある。</p> <p>【選定理由】</p> <p>現代疫学の父といわれる、ジョン・スノウが、どのようにコレラの原因を導き出したかが、描かれている絵本。周りの医者と違い、病気がどのように広まるかを調査し、事実と証拠をつないで、真の原因を究明していく過程が丁寧に描かれており、引き込まれる。公衆衛生の重要性を知り、人々の命を守る疫学者という職自体に興味をもつと共に、「医学のたんてい」であるジョンの、推理や行動を追っていくうちに、読者の視野が広がるだろう。</p>                                  | (1) イ<br>(2) ア<br>(3) ア |
| 1764 | あるジャム屋の<br>話<br>あすなろ書房<br>安房直子／文 伊藤<br>夏紀／絵                      | <p>【内容】</p> <p>森の中の小さなジャム屋。ジャムの味はとびっきりなのに、ちっとも売れなくて頭を抱えている。そんなある夜、鹿がジャムを紅茶に入れて飲んでいる場面に遭遇するー。「つるの恩返し」のような、どこか昔話を思わせる雰囲気のある作品。ジャム屋と鹿の交流が微笑ましく、心温まる。カラーの絵もあるが、読者の想像に委ねている箇所では、敢えてモノクロにしているところも効果的。安房直子さんによる洗練されたファンタジーは、今もなお、子どもたちの心に響くだろう。</p> <p>【選定理由】</p> <p>人づきあいが苦手なジャム屋の主人公と、森の中に住む喋る鹿との交流を描く心温まる物語。ひと昔前の設定で、どこか懐かしさを感じる雰囲気を纏ったファンタジーで、現代の子どもたちにも引き継がれてほしいと思われる作品。転職や、仕事が軌道に乗らないなどの、大人ならではの苦悩ではあるが、子どもに伝わる言葉で語られ、読者も話に入り込みやすい。主人公を通して、社会の厳しさや、互いの良さを認めて合える存在の大切さに触れることができる。</p> | (1) エ<br>(2) イ<br>(3) エ |

# 令和7年度埼玉県諮詢図書審査票

(小学校高学年部会)

| 諮詢番号 | 図書名等   | 内容・選定理由  | 認定基準                         |
|------|--|--|------------------------------|
| 1765 | 犬を飼つたらおさわぎ！<br>トイプードルのプリンセス？<br>徳間書店<br><br>トウイ・T・ザザーランド／作<br>相良倫子／訳 | <p>【内容】<br/>10歳のロージーは、きれい好きで、かわいいものが大好きな女の子。家で飼う犬種は、4人の兄全員が納得するよう家族会議で決定し、念願のトイプードルを飼えることになったが…?にぎやかな家族が子犬を受け入れていくようすを描いた、楽しくて心温まる物語。</p> <p>【選定理由】<br/>どの犬種を飼うかを考える上で、全員が納得する方法を家族会議で決定していく。初めはトイプードルを飼うことに対する反対だった兄たちも、一緒に過ごす中で犬への愛情が芽生えていく。この家族の物語の中に、読者も一緒に参加できる心温まる物語。生き物を飼うということは一つの命と向き合うこと。自分の理想を押し付けてはいけないこと。生き物を飼うことによって、多くのことを学ぶことができる。</p> | (1)ア<br>(1)イ<br>(2)ア         |
| 1766 | 白い虹を投げる<br>Gakken<br><br>吉野万理子／作<br>黒須高嶺／絵                           | <p>【内容】<br/>野球チームで頑張っていた、小学6年のヤヤと葉央。ヤヤは転校して新チームになじめず、残された葉央は、メンバーが減ったせいで試合ができない。ふたりはメールで励まし合う。「キャッチボールクラシック」という大会を知り、そこで再会することを誓う。</p> <p>【選定理由】<br/>転校したヤヤと、前の学校の友達葉央とのメールでのやりとりで、互いを励まし合い、うまくいかない野球や人間関係にも前向きに取り組むようになる。葉央にとっては弟、ヤヤにとってはチームメイトとの間に勝手に壁を作っていたが、結局そんな周りの人との距離も縮まり、二人はぐんと成長する。人の心をつなぐ、キャッチボールの物語。</p>                                   | (1)ア<br>(3)ア<br>(3)エ         |
| 1767 | 銀樹<br>アリス館<br><br>森埜こみち／著<br>日下明／絵                                   | <p>【内容】<br/>家族をなくしたシンは、朽葉の里の薬師と共に、山奥で生活することになる。ある日、都の薬師が、銀樹の秘薬を求めてやってくる。銀樹、それは銀色に輝く小さな木。この木から、どんな病でも治す薬がとれるという。「銀樹」のような木があったら、人はどう生きるだろう。なんとか道を見いだそうとする人々の姿を描く。</p> <p>【選定理由】<br/>銀樹をどうしても手に入れたいという人間の欲望と、知識を共有し薬の可能性を広げたいという願いの間で揺れ動く、人間模様を描いたファンタジー。人を許すことの尊さ、独占への戒めなど、価値感にあふれる1冊。イメージを強調しがちの品の良い挿絵が想像力を後押ししてくれる。</p>                                | (1)ア<br>(1)イ<br>(1)ウ<br>(2)イ |
| 1768 | ラッキーボトル号の冒険<br>徳間書店<br><br>クリス・ウォーメル／作・絵 柳井薰／訳                       | <p>【内容】<br/>家出少年ジャックは、乗っていた船が難破し、ひとり小さな島に流れ着く。そこには、巨大なカメと大男だけが住んでいた。海賊、宝探し、魔法、脱出サバイバル、そして、友情。ハラハラ、ドキドキ、波乱万丈の海洋冒険ストーリー。</p> <p>【内容】<br/>流れ着いた少年ジャックに、島で暮らしていたロビンソンが様々なことを教える中で、二人は強い絆で結ばれていく。お互いを想う強い気持ちに心が温まる。予想の上を行く展開の、ハラハラドキドキ冒険物語。分厚い本なのにすぐに引き込まれ、夢中で一気に読むことができる。</p>  | (2)ア<br>(2)イ                 |
| 1769 | きみだけの幸せって、なんだろ？<br>WAVE出版<br><br>前野マドカ／著                             | <p>【内容】<br/>固定観念に縛られず、ひとそれぞれの幸せ、ウェルビーイングについて考えるきっかけとなる本。本書では、「幸せってなんだろう？」という疑問からはじまり、4つのカギ、10の質問をとおして、自分だけの幸せを見つけていく。</p> <p>【選定理由】<br/>幸せとは何か？一時的な幸せではなく、長く続く幸せ＝ウェルビーイングな状態でいるには、どうしたらいいか？自分なりのウェルビーイングをつかむために、10の質問とわかりやすい言葉で幸福学を伝える。</p> <p>他人や社会の価値観が決めた幸せと自分の幸せを比べ混同してしまう、そんな小学校高学年の子どもたちに読んでほしい。</p>   | (2)ア<br>(2)イ<br>(3)オ         |

## 令和7年度埼玉県諮詢図書審査票

(中学校部会)

| 諮詢番号 | 図書名等  | 内容・選定理由   | 認定基準                    |
|------|---|---|-------------------------|
| 1770 | 17シーズン 巡るふたりの五七五<br>講談社<br>百舌涼一/著                   | <p>【内容】<br/>吃音をからかわれて心に傷を負った日々が友人や俳句を通して、自分自身を取り戻していく。17音で伝わる俳句の世界の面白さを感じ取れ、俳句の決まり事や季重なりなども学べる。</p> <p>【選定理由】<br/>悩みがあるのは自分だけではないことなど、現代の中学生にも、自分自身の素直な心の声と対話しながら読んでほしい一冊。吃音というハンデを乗り越えていく心の模様を、現在中学校で過ごしている生徒にも感じ、また、言葉の面白さを俳句を通して知り、心の豊かさを養う一つにしてほしい。</p>   | (1) エ<br>(2) イ          |
| 1771 | はなしをきいて<br>理論社<br>マギー・ホーン/著<br>三辺律子/訳               | <p>【内容】<br/>LGBTQやハラスメント、SNSトラブルなど、中学生をとりまく問題は世界共通である。取り巻く環境で話を聞いてくれない状況から、スピーチコンテストという表現をする場所での魂を込めたスピーチには読者も心が揺さぶられる。声をあげると気付いてくれる人もいる。理不尽なことに腹の底から怒りを感じ、エネルギーに変えて行動する強さや逞しさにもこの本の良さが詰まっている。</p> <p>【選定理由】<br/>現代の中学生が抱える悩みは声をあげるという行動とそのきっかけがあれば逞しさに変わり、人生が変わっていくのだと実感してほしい。さらに、これだけ人間関係の希薄化が進んでいる世の中において、人との関わりを考えて行動してほしいと考えている。</p> | (1) ア<br>(2) ア          |
| 1772 | かんばんのない<br>コーヒーや<br>ほるぷ出版<br>かめおかあきこ/作              | <p>【内容】<br/>古本屋を営むオオカミくんが森にどんぐりを探しに行くと、いい香りがして"かんばんのないコーヒー屋"を見つける。そこで出会ったクマのマスターのコーヒーを飲んで、美味しさに衝撃を受ける。そこからの彼の行動は、何事も懸命に努力していれば願いが叶うということの大切さを教えてくれる。"好きこそ物の上手なれ"という言葉の意味を教えられる。</p> <p>【選定理由】<br/>なんでもできるのが偉いとか勝ちとかではなく、何か一つでも懸命に極めていくことが大切なんだということを、簡単に答えが出てしまう世の中に一石を投じたい。また中学生には珍しい絵本だが、近年の不読率を考えると読書のきっかけとして適切だと考えた。</p>              | (2) ア<br>(2) イ          |
| 1773 | 15歳の昆虫図鑑<br>講談社<br>五十嵐美怜/著<br>ゲレンデ/イラスト<br>柏大輔/イラスト | <p>【内容】<br/>一人一人の悩みに昆虫の生態を通して、正解に気づかされる物語。また、昆虫を通して、対人関係・ジェンダー・自分は何者?・SNSトラブル・コミュニケーションがうまくとれない等が小さな問題だということに気づかされる。</p> <p>【選定理由】<br/>文体のリズム、展開は短編がゆえになかなかよいと思う。自然の営みの中で自分たちらしく生きている昆虫を知ることが、人としても自分たちらしく生きていく大切さを教えてくれる。登場人物たちが最後に想う『生きるとはどういったことか』には深く頷いた。多様性や個人の障壁などで頭を抱えている中学生に読んでほしい。</p>   | (1) イ<br>(3) ア<br>(3) エ |
| 1774 | 光の粒が舞いあがる<br>PHP研究所<br>蒼沼 洋人 著                      | <p>【内容】<br/>本当のことを言えない主人公がボクシングを通して心を強くしていく物語。不安・緊張・人間性もわかりやすく書かれ、1つのことに熱中するよさ、ボクシングというスポーツを取り上げた珍しさ、何よりも人物たちの気風のよさが心に染みる。</p> <p>選定理由】<br/>ボクシングというスポーツを取り上げて進む物語には新鮮さを感じた。さらに、全くの初心者が自分の悩みも爽快に吹き飛ばしているボクシングの描写は読んでいて身体がうずいてくる。登場人物の気風のよさも心に響くものがある。</p>   | (1) ア<br>(2) イ<br>(3) ア |

## 令和7年度埼玉県諮詢図書審査票

(高校・青年部会)

| 諮詢番号 | 図書名等  | 内容・選定理由  | 認定基準                 |
|------|---|--|----------------------|
| 1775 | 牛乳から世界がかわる<br>農山漁村文化協会<br>小林国之/著              | <p><b>【内容】</b><br/>日本の酪農業界を知ることができる本。経済動物である牛への考え方、酪農スタイルの変化、環境問題など酪農を取り巻く環境は日々変化している。そんな中、酪農家を目指す人やこれから何者かになる人に向け、あらゆることが世界と繋がっていることを教えてくれる。</p> <p><b>【選定理由】</b><br/>酪農というテーマについて広く学ぶことができる。特に本書が優れている点は、単に農業の視点から語るだけではなく、経済や紛争、歴史等のさまざまな視点から酪農が語られる点である。また、実際に複数の酪農家を取材した記事も秀逸であった。酪農家それぞれに思いと酪農のスタイルがあり、生き物や環境との共生について考えるきっかけにもなる。豊かな人間性を養うという観点から非常に有用な本であった。</p>  | (1)ウ                 |
| 1776 | 宇宙はなぜこんなにうまくできているのか<br>集英社<br>村山斎/著           | <p><b>【内容】</b><br/>宇宙にテーマを絞った物理・化学の入門書。数式ではなく文章を中心とし、図や写真も使われていて平易。</p> <p><b>【選定理由】</b><br/>自然科学に関する入門書としては候補作の中で唯一だった。数式の類が使われておらず、天文学や物理学の発展の「あらすじ」とその魅力を平易な言葉で伝えようという意図を感じた。青少年が将来この分野を学ぼうと思うきっかけとして有益であると判断した。</p>  | (3)ア                 |
| 1777 | 隣人のうたはうるさくてときどきやさしい<br>双葉社<br>白尾悠/著           | <p><b>【内容】</b><br/>「心地よい暮らしを作るために多世代の住人が協働するコンミュニティ型マンション」ココ・アパートメントを舞台に、そこで暮らす人々や周囲の人々の成長や変化を描いた本。一章ずつ語りが変わり視点が変わしながらも話が進み(時間が進み)、その人の過去を思い出しながら現在の位置関係が分かるようになっている。新しい社会の在り方を提案しつつ、生き方を考える参考になる。</p> <p><b>【選定理由】</b>多世代の住人が協働するコンミュニティ型マンションでの生活が、住人それぞれの視点で描かれており、社会の一員としての自覚を高め、社会参加の精神を養うものであり、人間としての在り方生き方を考えるきっかけとなるものである。また、多世代というだけでなく、様々な人種の人が関わり、性的マイノリティの人の話も織り交ぜているため、多様性を理解し、共生意識を高めるものにもなっている。</p> | (1)ウ<br>(2)イ<br>(3)エ |
| 1778 | よむよむかたる<br>文藝春秋<br>朝倉かすみ/著                    | <p><b>【内容】</b><br/>叔母の喫茶店を引継ぎ、超高齢者読書会と関わることになった青年'やっくん'。個性的な読書会のメンバーに振り回されながらも、充実した日々を過ごす。メンバーの病気、過去、死などの困難に立ち向かう様子が、実直さとユーモアをもつて描かれている。こんな読書会をしてみたいと思わせる作品である。</p> <p><b>【選定理由】</b><br/>多様な世代が登場し、笑い悩み後悔しながら人生を謳歌している様子が生き生きと描かれている。一般的な読書会とは異なり、この本では分担場所を朗読し品評しあう。時には真剣に、時には脱線しながら読書会に参加する。仲間と過ごす掛け替えの無い時間とはこういうものかと感心させられる内容であり、人生を考えるきっかけとなり得る。</p>   | (1)エ<br>(2)イ         |
| 1779 | 注文に時間がかかるカフェ たとえば「あ行」が苦手な君に<br>ポプラ社<br>大平一枝/著 | <p><b>【内容】</b><br/>「注文に時間がかかるカフェ」発起人の奥村さんを中心に、「注カフェ」のスタッフへの取材をまとめた本。吃音について学べることはもちろん、活動についてもつと知りたいと思った。当事者にも勇気を与える内容になっている。</p> <p><b>【選定理由】</b><br/>イベントの発起人である奥村氏の、吃音の当事者やイベントにかける強い思いが丁寧に描写され、密着取材の利点を活かした内容となっている。また、吃音そのものについてはもちろん、当事者が抱える困難さについても学ぶことができる。生活での困難さ、話せないときにはどう扱ったほしいのかなど、当事者によってニーズが異なる点は、障害への理解を深めるうえで欠かすことができない。広く共生社会に利するものとして、評価に値する。</p>   | (1)ア<br>(2)イ<br>(3)エ |

## 令和7年度推奨図書選定の経緯

### 1 募集

- (1) 日本児童図書出版協会会員、Y A出版協会会員に対し候補図書の申出を依頼
- (2) 県民に対し、学校、図書館や県ホームページを通じて候補図書を募集

### 2 申出受付期限

- ・ 日本児童図書出版協会加盟等各社 令和7年3月4日（月）
- ・ 一般県民 令和7年3月4日（月）

### 3 申出状況

計306点

### 4 優良図書選定委員会委嘱状交付並びに第1回全体会の開催（図書の配布・部門決定）

令和7年4月30日（火）14：00～16：30

### 5 優良図書選定委員会部会の開催（図書の審査）

#### （1）乳幼児部会

令和7年7月11日（金）13：00～16：30 県立久喜図書館

#### （2）小学校部会

（低学年）令和7年7月15日（火）15：30～17：00 深谷市立深谷小学校

（中学年）令和7年7月10日（木）15：30～16：30 さいたま市立与野本町小学校

（高学年）令和7年7月23日（水）10：00～15：30 久喜市立本町小学校

#### （3）中学校部会

令和7年7月11日（金）14：00～16：30 川越市立西図書館

#### （4）高校・青年部会

令和7年7月22日（火）13：30～16：30 県立浦和高校

### 6 優良図書選定委員会第2回全体会の開催（図書の最終審査及び推奨候補図書の選定）

- ・ 令和7年8月6日（水）14：00～16：30 知事公館

### 7 青少年健全育成審議会へ推奨図書の諮問（答申）

- ・ 令和7年9月11日（木）13：30～15：30

### 8 推奨年月日

- ・ 令和7年10月3日（金）（予定）

## 「埼玉県青少年健全育成条例に基づく推奨、指定及び命令に関する認定基準（抄）」

（昭和58年10月1日 施行）

（平成16年1月20日 改定）

（平成29年2月9日 改定）

（令和元年9月12日 改定）

埼玉県青少年健全育成条例（昭和58年埼玉県条例第28号。以下「条例」という。）第10条の規定に基づく優良な図書等、映画及び演劇の推奨の認定基準は、次のとおりとする。

### （1）豊かな人間性を養う

- ア 思いやりや社会性、倫理観や正義感などを養うもの
- イ 「生命の大切さ」の心情や意識を高めるもの
- ウ 社会の一員としての自覚を高め、社会参加の精神を養うもの
- エ 言葉、表現等に親しみ、楽しむことで情操を高めるもの

### （2）生きる力を育む

- ア 思考力、判断力、創造力、問題解決能力などを育むもの
- イ 人間としての在り方生き方を考えるきっかけとなるもの

### （3）知識・教養を深めるもの

- ア 自然や科学、スポーツ、文化芸術などへの興味関心を高め、理解を深めるもの
- イ 郷土や伝統を愛し、それらの良さを認識するのに役立つもの
- ウ 国際感覚を養い、国際理解に役立つもの
- エ 多様性を理解し、共生意識を高めるもの
- オ 健やかな発達・成長のため、基本的な生活習慣や態度を養うもの

### （4）その他

- ア その他青少年の健全育成に特に役立つもの

埼玉県青少年健全育成条例（抄）

（優良な図書等及び興行の推奨）

第10条 知事は、図書等又は興行で、その内容が青少年の健全な育成を図るため特に優良と認められるものを推奨することができる。

（審議会への諮問）

第25条 知事は次に掲げる場合は、埼玉県青少年健全育成審議会に諮問しなければならない。ただし、第1号、第2号、第4号又は第5号に掲げる場合において、緊急を要し、審議会を招集するいとまがないときは、この限りでない。

(1) 第10条の規定により推奨をしようとするとき。

## 埼玉県優良図書選定委員会委員名簿(第21期)

任期:令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

|    | 所属部会   | 氏名        | 勤務先           | 役職   | 郵便番号     | 勤務先住所             | 勤務先電話        | 推薦団体       |
|----|--------|-----------|---------------|------|----------|-------------------|--------------|------------|
| 1  | 乳幼児    | すずき ちかこ   | 川口市立中央図書館     | 主査   | 332-0022 | 川口市川口1-1-1        | 048-227-7611 | 埼玉県図書館協会   |
|    |        | 鈴木 千雅子    |               |      |          |                   |              |            |
| 2  | 乳幼児    | くぎもと ひろみ  | 小川町立図書館       | 主席主査 | 355-0328 | 比企郡小川町大字大塚99-1    | 0493-72-5965 | 埼玉県図書館協会   |
|    |        | 釘本 宏美     |               |      |          |                   |              |            |
| 3  | 乳幼児    | さとう あやこ   | 埼玉県立久喜図書館     | 主任司書 | 346-8506 | 久喜市下早見85-5        | 0480-21-2659 | 埼玉県図書館協会   |
|    |        | 佐藤 綾子     |               |      |          |                   |              |            |
| 4  | 小学校低学年 | きわだ みさ    | さいたま市立田島中学校   | 校長   | 338-0837 | さいたま市桜区田島10-13-1  | 048-864-3451 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 木和田 美佐    |               |      |          |                   |              |            |
| 5  | 小学校低学年 | あらき ゆみ    | 深谷市立深谷小学校     | 教諭   | 336-0822 | 深谷市仲町19-1         | 048-571-0329 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 荒木 佑実     |               |      |          |                   |              |            |
| 6  | 小学校中学年 | せいみや なつみ  | 吉川市立吉川小学校     | 教諭   | 342-0056 | 吉川市平沼73           | 048-982-2420 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 清宮 なつみ    |               |      |          |                   |              |            |
| 7  | 小学校中学年 | どうぞえ ちあき  | さいたま市立与野本町小学校 | 教諭   | 338-0003 | さいたま市中央区本町東3-5-23 | 048-852-4444 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 堂添 千明     |               |      |          |                   |              |            |
| 8  | 小学校高学年 | いとう あゆみ   | 久喜市立本町小学校     | 校長   | 346-0005 | 久喜市本町7-6-1        | 0480-22-8245 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 伊藤 あゆみ    |               |      |          |                   |              |            |
| 9  | 小学校高学年 | すぎやま りょうこ | 所沢市立小手指小学校    | 教諭   | 359-1147 | 所沢市小手指元町2-29-2    | 04-2948-2215 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 杉山 綾子     |               |      |          |                   |              |            |
| 10 | 中学校    | ささき なつみ   | 越谷市立千間台中学校    | 教諭   | 343-0036 | 越谷市三野宮1141        | 048-977-8778 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 佐々木 菜摘    |               |      |          |                   |              |            |
| 11 | 中学校    | ふるだて えり   | 越谷市立平方中学校     | 教諭   | 343-0002 | 越谷市平方2115         | 048-977-3451 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 古館 恵里     |               |      |          |                   |              |            |
| 12 | 中学校    | しまだ ゆうすけ  | 川越市立霞ヶ関東中学校   | 教諭   | 350-1101 | 川越市的場2706         | 049-232-4606 | 学校図書館協議会   |
|    |        | 島田 祐介     |               |      |          |                   |              |            |
| 13 | 中学校    | つるまき たくま  | 川越市立西図書館      | 主査   | 350-1108 | 川越市伊勢原町5-1-1      | 049-237-5660 | 埼玉県図書館協会   |
|    |        | 鶴巻 拓磨     |               |      |          |                   |              |            |
| 14 | 高校・青年  | はせがわ ゆうこ  | さいたま市立大宮北高等学校 | 主査司書 | 331-0822 | さいたま市北区奈良町91-1    | 048-663-2912 | 埼玉県図書館協会   |
|    |        | 長谷川 優子    |               |      |          |                   |              |            |
| 15 | 高校・青年  | あらい なおあき  | 埼玉県立春日部高等学校   | 教諭   | 344-0061 | 春日部市粕壁5539        | 048-752-3141 | 高等学校図書館研究会 |
|    |        | 新井 直明     |               |      |          |                   |              |            |
| 16 | 高校・青年  | おばた けいたろう | 埼玉県立朝霞高等学校定時制 | 教諭   | 351-0015 | 朝霞市幸町3-13-65      | 048-465-1010 | 高等学校図書館研究会 |
|    |        | 小幡 佳太郎    |               |      |          |                   |              |            |
| 17 | 高校・青年  | かがみ さちえ   | 埼玉県立浦和高等学校    | 司書   | 330-0072 | さいたま市浦和区領家5-3-3   | 048-886-3000 | 高等学校図書館研究会 |
|    |        | 加々美 祐江    |               |      |          |                   |              |            |

|                                     |
|-------------------------------------|
| ○会長 : 伊藤 あゆみ(久喜市立本町小学校)             |
| ○副会長(乳幼児部会長) : 佐藤 綾子(埼玉県立久喜図書館)     |
| ○副会長(小学校部会長) : 木和田 美佐(さいたま市立田島中学校)  |
| ○副会長(中学校部会長) : 島田 祐介(川越市立霞ヶ関東中学校)   |
| ○副会長(高校・青年部会長) : 加々美 祐江(埼玉県立浦和高等学校) |